

# 笑楽幸

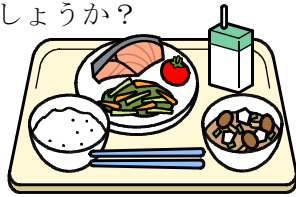
土佐清水市立清水小学校  
校長室便り 令和2年6月4日

## 聞いていただけましたか？

前回のお便りで、サメ献立給食についてお話をしました。テレビニュース、新聞で紹介されたのですでご存じとは思いますが、味までは伝わっていないのかと思います。

さて、味はどうだったでしょうか？子どもたちに感想を聞いて頂けたでしょうか？

地産地消に合わせて、給食委員会で試行錯誤し完成した「サメのゆずフライ」。子どもたちの苦勞が報われるような感想ばかりでした。



清水の子どもたちですから「サメ」を知らない人はいないとは思いますが、あの姿、形を見て食べてみようかと思った人は多くはなかったと思います。

しかし人々の食への追求は、あの姿、形を越えてしまいました。

実際に食べてみるとくせもなくとても美味しいのでした。サメと同じように見かけでは判断できないものがあります。ウツボは高知県ではよく食べられています、どう見てもあのグロテスクな生き物を食べようとは思わないと思います。しかし唐揚げにしてもタタキにしてもなかなかの味です。

実際には私は、父が漁師だったことから、冬時期になるとウツボの干したものをよく食べていました。骨がましい(この言葉伝わるのでしょうか?)ですが、味はなかなかのものでした。

人々は、火を手に入れたことで暮らしがずいぶん変わってきました。もし生でしか食べることができなかったとすると、これほど豊かな暮らしにはなっていないかも知れません。

食だけではないですが、人々が暮らす中での「自分たちの生活をより良くしていこうとする(追求)はこれからも必要なことだと思います。」

話があちこちしましたが、地産地消で考えられた「サメ献立給食」。ぜひ子どもたちから感想を聞いてみてください。

ちなみに、保護者の方から”スクールランチ返信”にて「私も食べてみたい」とお返事がありました。

## これからをどう読むか

全国的な緊急事態宣言が解除され、それぞれの府県では感染者数もずいぶん減ってきているように思いますが、危険性がゼロになったわけではありません。

北九州市では、学校内でクラスターが発生し、休校となっています。子どもは感染しても重症化しないということで、決して感染しないのではな

いと言われていることがいわれています。分からないうちに感染したものが、広がっていくということも考えられることから、本当に感染予防が大事になってきます。

これからをどう読むか？私は専門家ではありませんので、読むことはできないかも知れません。しかし、正しい情報をしっかり見ながら判断することはできると思います。

なかなか先の見えないことですが、まずは【手洗い、うがい、マスクの着用】でひとり一人が意識し、気をつけることが大事です。新しい生活様式を取り入れて…との国からの方針も出されましたが、人の命に関わることとして考えていきたいものです。

## ◇◇1学期の折り返しを迎えて◇◇

6月に入り、昨年よりも早く梅雨入りしました。これからは、感染症対策とともに熱中症についても気をつけていく必要があります。

さて例年ならば6月は1学期の折り返しを過ぎているところですが、5月から始まったような今年度は、もう少しで1学期の折り返しを迎えることとなります。

1年生も学校生活に慣れてきて、元気に学習しているように見えますが、子どもたちの心の中はどうでしょうか？辛い思いをしている人はいないでしょうか？

悪口を言っているつもりはないけど、相手側は悪口を言われたととることがあります。実際には、世に他人の悪口が途絶えたことはないかもしれません。

極論かも知れませんが、『他人に対する非難』は「自分自身の秘められた願望か」、「自分自身に対して非難したい事柄を物語るか」ではないかと言われることがあります。

「あいつはけちだ」と言う人がいたら、その人は自分がけちになりたいのか、実は自分がけちなのを隠したいがためにそう言うのかということ。そして問題は「自分ではそのことに気がついていない」ということです。

「他人に向ける言葉は刃にもなる。」ということを決して忘れてはいけません。最近では、相手が誰だか分からずに誹謗中傷され傷つき、自ら命を絶つた事件もありました。言葉も道具も人としてどう使うか問われているときです。

森鷗外の言葉の中に「その人の前で口に出せないことは、その人のいないところでも口に出さぬものだ」と書いています。

先日、3年生の女の子から「校長先生へ いつもまもってくれてありがとうございます。これからもよろしくおねがいします。」というきりりカードを頂きました。

私がどんなに思ったかは想像つきますよね。子どもたちをほめることはあっても、ほめられることが少なくなった今は、どれほどこの言葉に勇気をもたらしたか…

1学期も折り返しを迎えました。「言葉と道具の人としての使い方」、「自分自身に気がつくこと」を今一度考えて生活を振り返ってみましょう。

6月中旬には「学校生活アンケート」を取りました。これまでもアンケートをしてきましたが、自分の思いをしっかりと書いてこれまでの自分、これからの自分に気がつけければ良いですね。

